

北海道議会議員
Go forward! 北海道 たけだ 浩光 道政通信
ひろみつ
所属会派：民主・道民連合
住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!
発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



2021第2回定例会…本質に触れぬまま終了

“なぜ検証も反省もできないのかな～？ だから経験が生きない！”
6月15日開会した第2回定例会では、冒頭、緊急事態宣言が発令されたことに伴う緊急財政措置として、750億9,000万円の補正予算先議が行われ、先議分も含め本定例会で1,297億円の補正予算を可決（総額3兆4,046億円）し、全議案22件と意見案7件を可決し、7月2日に閉会した。



2021第2回定例会（最前列右から2番目が武田）

最大の課題である新型コロナウイルス感染症対策に対するこれまでの対応について、知事は決して対応遅れには触れることなく責任回避の不誠実な答弁となった。時短要請に応じない店舗との公平性についても明確な回答はなく、ワクチン接種の推進についても、リーダーシップはあまり感じられなかった。また、新しい旅のスタイルモデル事業についても、「感染拡大に影響を与えたと考えてはいない」との答弁であり、今後の観光シーズンに向けての対策、特に北海道は避暑地的な人気地であることから、知事としての明確な意思をもってしっかりとした感染対策を尽くすべきと考える。

いずれにしても、知事の責任のある政治姿勢を、かつて寿都町長が「核のごみ」の最終処分場選定に向けた「文献調査」へ意向を示したのに対し、すぐさま反対の対応をしたように示すべきである。道内で一部開催される東京オリンピックに対しても、道民の安全・安心を最優先に対応することを切に望むものである。

前半2年終了 ☆第31期後期の所属委員会が決定!☆



市橋新副議長を囲む1期生（左から2番目が武田）

	【旧所属委員会】	【新所属委員会】
常任委員会	保健福祉委員会	総務委員会
特別委員会	少子・高齢社会 対策特別委員会	食と観光対策特別委 員会

議会運営委員にも就任しました!

道議会議員は、2年毎に役員や委員会が改選されることとなります。現在99名おり、必ずどこかの委員会に所属することになってます。今回私は、希望もあって、常任委員会は総務委員会、特別委員会は食と観光対策特別委員会へ所属することとなりました。

また、副議長は高橋亨道議会議員が退任し、市橋修治道議会議員が任に着きました。新副議長を中心に、道民の皆様と向き合いながら、暮らしやすい地域づくりをめざし全力で取り組みたいと思います。

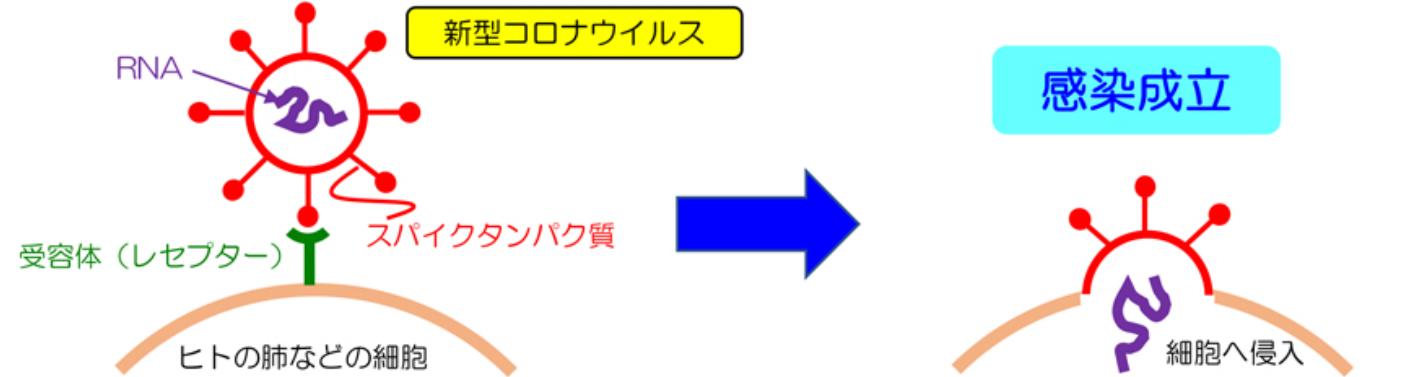
戦略としてのワクチン Vaccine

シリーズ企画第2弾 ②

感染とは？

ウイルス表面のスパイクタンパク質という突起が、ヒトの細胞の表面にある受容体（レセプター）というタンパク質に付着し、そこからウイルスのRNAが侵入することで感染が成立します。

ウイルスは自分自身で増殖することができないため、ヒトの細胞に侵入しその細胞を乗っ取ることでウイルスを増やしていきます。



そこで mRNAワクチン（メッセンジャーRNAワクチン）

皆さんがよくご存知の「ファイザー」や「モデルナ」のワクチンは、mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンといいます。これは、新型コロナウイルスが持つ「スパイクタンパク質」の設計図となるmRNAが含まれているワクチンのことです。

ワクチンとして接種したmRNAが細胞の中に入ると、細胞がもともと持っている「mRNAからタンパク質を作る仕組み」を利用してスパイクタンパク質が作られます。その後、細胞内で作られたスパイクタンパク質は一度細胞の外に放出され、免疫細胞に捕食、分解されます。この時、免疫細胞はスパイクタンパク質の破片を細胞の表面に送り、別の免疫細胞がその破片を目印に新型コロナウイルスを「敵」として認識します。これをきっかけに、敵を攻撃する「抗体」が作られるようになります。

抗体の量は時間が経つと少なくなるものの、免疫細胞がスパイクタンパク質を「記憶」し、次に備えています。その後、本物の新型コロナウイルスが体内に侵入してきたときには、この記憶を頼りに抗体をすぐに作りだし、タンパク質を目印にウイルスを攻撃するのです。

mRNAワクチンでは、人工的に作った脂質の膜を「入れ物」として使います。この「入れ物」が壊れやすいため、超低温での冷凍保存が必要になります。
e-mail : info@takeda-hiromitsu.com



たけだ浩光オフィシャルWebサイト
たけだ浩光 検索
オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧になれます
読売新聞オンラインより

